

製造業に追い風、ベトナム FDI が 61%集中

2025年4月28日 作成

カテゴリー ベトナム一般概況 経済

製造業に追い風、ベトナム FDI が 61%集中

2025 年第一四半期、ベトナムにおける外国直接投資（FDI）は引き続き堅調に推移している。具体的には、401 件のプロジェクトが投資調整を行い、追加投資額は約 51 億 USD に達した。さらに、外国投資家による出資・株式取得は 810 件で、投資額は約 14 億 USD を記録した。

この期間、ベトナムの国民経済 21 部門のうち 18 部門に FDI が流入。中でも製造・加工業は依然として FDI の主力産業であり、総額 67 億 USD 以上を集め、全体の 61% を占めた。前年同期比で 26% 増加しており、引き続きベトナム経済の成長エンジンであることを示している。

不動産分野も堅調で、23 億 USD 超の投資を受け、全体の 21% を占める。こちらは前年同期比で 44% の大幅増となっている。地価高騰や都市開発需要を背景に、今後も有望な投資分野とされる。投資元では、シンガポールがトップで 30 億 USD 超の FDI をベトナムに供給。これに続くのは韓国、中国、日本の順であり、東アジア地域からの投資が依然として中心である。

地域別では、FDI を多く集めたのはバクニン省、ホーチミン市、ハノイ市であり、インフラ整備や労働力供給の面で優位性を有している。特にバクニン省は製造業集積地としての地位を確立しており、大型案件の誘致に成功している。

今後、FDI の安定的な拡大に向けては、法制度の整備、インフラ投資、行政手続きの簡素化などが引き続き重要となる。

以上